

ああぞうばいり

第17号
平成28年 6月 1 日発行
社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団
おおぞらのいえ
〒651-2181
神戸市西区曙町1070
TEL (078) 927-2727 (代)
FAX (078) 925-9253



ばたきの時を迎えて

障害児入所施設 おおぞらのいえ
所長 志々

成 おおぞらのいえ

どうかよろしくお願ひします。平成20年4月に「おおぞらのいえ」の開所して、9年目の春を迎えました。私自身が、開所当時に、「おおぞらのいえ」に勤務していました。これから、思い返しますと、入所児童6名からのスタートでした。幼い子どもたちにできる限り、普通の家庭に近い環境や体験を提供したいといい、職員一同、試行錯誤して、いたことを懐かしく思い出しています。現在の「おおぞらのいえ」は、幼稚部から高等部まで19名の子どもたちが賑やかに、助け合って生活しています。子どもたちも中学部、高等部の生徒となり、彼らの大入っぽい表情や発言を見聞きするたびに、成長を感じて嬉しく思っています。

さて、入所施設の子どもたちは、高等部を卒業すると次の進路に向けて羽ばたいて行かなければなりませんが、「おおぞらのいえ」では、「自立支援ビジョン」として、ひとり一人の子どもに対して、幼少期の頃から自立に向けて年齢や発達状況に応じた課題や目標を設定し、学校や病院等とも連携して支援していく取り組みを推進しています。今年度は、4名が羽ばたきの時期を迎えようとしています。本人が納得できる進路を選択できるよう、学校と連携して支援しますので、ご家族の皆様のご理解とご協力ををお願いいたします。

また、在宅障害児向けサービスも、ご家族のレスパイトニーズに積極的に応え、短期入所の利用を大きく伸ばし、日帰り利用の中一時支援も明石市の方を対象として拡充してきたところです。

中でも、児童発達支援は、4月から9名の新しい子どもたちを受け入れました。子どもたちの個性に合わせた療育に加えて、保護者同士の交流会や子どもたちが通う保育所等との連携支援にも取り組んで、その存在感を高めています。

最後に、「おおぞらのいえ」自身も皆様に成長させていただき、更なる羽ばたきの時期を迎えていくように思います。養護性の高い肢体不自由児を保護し、自立に向けた支援を提供することを基本に、総合リハの機能やのじぎく特別支援学校及びおおぞら分教室との連携を深めながら、子どもたちの笑顔と可能性を追求し「心を育む」支援を提供して、その責任を果たしてまいります。

職員一同、力をあわせて取り組んでまいりますので、今後ともご理解、ご協力をお願いします。

スタッフ紹介



療育指導課長

4月の人事異動でおおぞらのいえで勤務することになりました、塔下久實子です。宜しくお願ひいたします。

開設当初に勤務してから歳月がたち、当初から入所されている子どもたちも大きくなりびっくりしました。懐かしさもありますが、何よりも子どもたちから「おはようございます」などとの言葉を掛けられると元気になります。どうぞ宜しくお願ひいたし



僕・私の好きなもの

ほくはラジオが大好きです！おおぞらのいえ
でも、よくK-i-s-s-FMを聴いています。明
石公園にラジオの公開収録にも行つたことが
あります。中でもロッテの中野耕史さんのファ
ンなので一度会つてみたい
です。



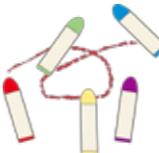
支援員

垂井
辰紀

4月からおおぞらのいえに勤務することになりますた、井野と申します。社会人1年目でご迷惑をおかけすることもあると思いますが、精一杯頑張ります。子どもたちと一緒に様々なことに挑戦し、成長を見守りたいと思っています。きらきらとした子どもたちの笑顔が増えるような支援をしたいです。よろしくお願ひ



支援員
井野 愛子
あいこ



通鑑卷之



新しい1年がスタート！

おおぞらのいえ児童発達支援事業所は、昨年度12名の児童が退所し、今年度より新しく9名（H28.4.1現在）の児童が入所されました。

入所してまず初めの行事は「入所式」です。入所式は、子どもたちが少しおおぞらのいえに慣れてきた4月中旬に行います。少し環境に慣れてきてることで、初めての場所が苦手な子どもたちもスムーズに入室することができます。また、昨年度入室することが難しかった子どもも、笑顔で入室することができ、式に参加することができます。年間の成長を感じました。入所式終了後は、親子で「こいのぼり作り」を行いました。こいのぼり作りは、毎年恒例で行っているので、初めて作る子どもたちや中には今年で3回目という子どももいました。完成後は、矢車に息を吹きかけてくるくる様子を見て楽しんだり、「上手にできたね。」「がんばったね。」「昨年よりも上手に作れたね。」などお母さんやお父さんに褒められ、みんなとても嬉しそうでした。

これからは、季節に応じて親子で参加する行事や子ども同士で参加する行事がたくさんあります。子どもたちの成長を保護者の方と一緒に見守りながら、楽しく行事やプログラムに参加していただけるよう取り組んでいきたいと思います。

新入生

おおぞらのいえでは、新たにおおぞら分教室幼稚部1名・

中学部2名、のじぎく特別支援学校高等部1名の児童が新生として、新たな学校生活をスタートしています。幼稚部生は初めての学校生活、分教室のお兄さん、お姉さんに続いて毎日元気に登校しています。それぞれが新しい学部で、様々な体験や学習をし、心身共に大きく成長してほしいと思います。

神戸市障害者スポーツ大会

5月に開催された“神戸市障害者スポーツ大会”におおぞらのいえとして初めて参加しました。3名の児童が選手として出場し、大きな陸上競技場や緊張感に圧倒されながらも精一杯頑張りました。応援として参加した児童も友だちの出番になると応援に熱が入っていました。今回の大会は、子どもたちにとっては一つの挑戦であり、この経験がよい刺激になつたように思います。来年も、出場できるよう皆で練習をしていきたいと思っています。

入所施設



※写真の掲載については、保護者の承諾を得ています。